

## 令和6年度 第1回 富塚小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月18日（木） 13時30分～15時15分
- 2 開催場所 富塚小学校 会議室
- 3 出席委員 吉原 忍、鈴木 秀俊、萩原 孝英、小宮山 文博、久保田 智彦、  
鈴木 佐知、笠原 大輔、高橋 麻由美
- 4 欠席委員 平出 裕美子
- 5 オブザーバー 門奈 保典（富塚協働センター）、小楠 佳子（地域代表）
- 6 学 校 村松 一彦（校長）、古宮 康子（教頭）、池内 伸彰（教務主任）、  
新田 久美子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 1人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 新田 久美子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木秀俊委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- (1) 今年度の学校運営基本方針について
- (2) いじめ防止等のための基本的な方針について
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (4) 学校運営協議会の自己評価について

### 11 会議記録

司会から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 今年度の学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、資料に基づき今年度の学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・今年「相手の心を感じる」が重点ということだが、これは毎年変わるのか。（萩原委員）  
→毎年検討を行っているので、変わっているところもある。（校長）
- ・基本方針は毎年ころころ変わるものではないと思うので、その年によって重点を置くところを決めてやっておられることが理解できた。（萩原委員）
- ・基本方針については理解できた。自分らしい生き方を見つけていくことは大切だと思う。何事も1人の先生が抱えるのではなく、組織で取り組んでいってほしい。（久保田委員）

- ・大変すばらしい基本方針だと思う。この内容は大人になっても大切なことなので、子供のうちから身に付けることができればとても良い。私たち大人にもそのまま使える内容なので、自治会などでも参考にさせていただきたい。(小宮山委員)
- ・本校の弱みのところに「若手の男性教員が少ない」という項目があったが、今年子供の担任が若い男性の先生になって、学校が楽しいと言っている。子供にとって楽しい先生がいらっしゃることは大変ありがたい。(鈴木佐知委員)
- ・去年は懇談会の出席率が低く、保護者にどんな方がいるのかあまり分からなかった。せっかく開かれた学校を目指されているなら、1年に1回でも保護者同士で自己紹介をするなど交流の場があればよいのではないかと思う。(鈴木佐知委員)
- ・この基本方針は、教員にはどのように周知しているのか。(鈴木秀俊委員)  
→まずは4月1日に全体への説明を行っている。また、週1回の打合せでも、その都度必要なことを話している。(校長)
- ・毎年教員にアンケートを取って、基本方針を決められていることはすばらしいと思った。(鈴木秀俊委員)
- ・先程のお話の中に、キーボー島アドベンチャーというものがあったが、これは富塚小独自で行っている取り組みなのか。(吉原会長)  
→他にもやっている学校はある。本校では校長の判断で取り入れている。(校長)
- ・働き方改革の項目があったが、これはとても大切なことだと考えている。企業などでもそうだが、中の環境が良くないと外への影響が大きい。学校の場合は児童に影響することになると思うので、特に大切にしていっていただきたい。(吉原会長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (2) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づきいじめ防止等のための基本的な方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・子供が人の物を取ってしまった場合はどのような対応をしているのか。(鈴木佐知委員)  
→まずは複数の教員で事実関係の確認をする。また、可能な限り周りの子にも確認をする。納得した上で今後どうするかを考えさせ、指導するという対応を行うことになっている。(校長)
- ・昨年何回も言っていることだが、いじめの対応は1人の先生ではなく組織で行って欲しい。(久保田委員)
- ・朝登校の見守りをしている時、子供たちが大変よく挨拶をしてくれるため、この学校にいじめなどあるのかと思ってしまいが、ゼロではないということなので、できるだけ早期に発見して対応していただきたい。(久保田委員)
- ・(校長より補足説明) 学期に一度いじめアンケートを実施しているが、昨年度2月に、タブレットによるアンケートを実施した。今年は2回タブレットによるアンケートを行うことになっている。
- ・タブレットでのアンケートはどのような表現で入力するのか。物を取られたなど、具体的な内容を

記入することができるのか。(萩原委員)

→物を取られたなどというよりは、長く続いている件が書かれることが多い。また、人がやっているのを見たという内容もある。(校長)

・タブレットでも紙でもアンケートの内容は同じなのか。(萩原委員)

→同じ。(校長)

・書かれた内容はすぐにいじめと分かるものなのか。(萩原委員)

→書かれた内容については、本人に必ず確認することになっている。確認した上で判断する。(校長)

・資料の中にPTAに関する項目があるが、PTAとしてはいじめの問題にどのように関わるとよいのか。(鈴木佐知委員)

→いじめに対してPTAで何か対応するというのはなかなか難しい。保護者向けに講座を開く場合などにPTAの協力を得ることはあるかもしれない。しかし、保護者にもいろいろな考えがあるのでこれについても難しいところがある。(校長)

・保護者がいじめについて学ぶことはとても大切だと思う。(鈴木秀俊委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### (4) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭から、資料に基づき学校運営協議会の自己評価について説明があった。

## 報告

学校支援コーディネーターよりこれまでの活動について報告があった。

- ・入学式のテーブル装花作りを行った。
- ・現在富っ子レンジャーの新しいマントを作成中。1年生を迎える会でお披露目する予定。
- ・今年度もボランティア募集のチラシを作成し、保護者に配布した。地域の方にはチラシを回覧に載せて募集する予定。

## その他の報告事項等

司会から、次回会議は、令和6年7月5日(金)14時00分から富塚小学校会議室で開催する旨の報告があった。